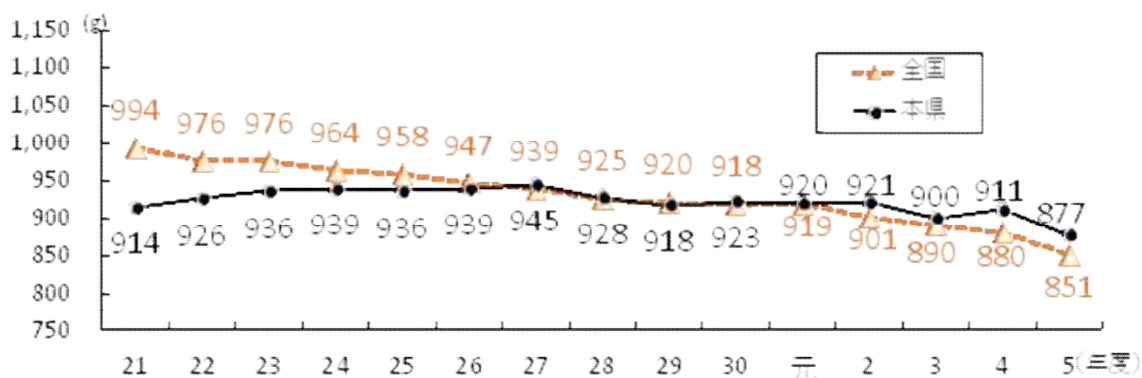


9 生活環境衛生の状況

(1) 県民1人1日当たりのごみ（一般廃棄物）の排出量の推移

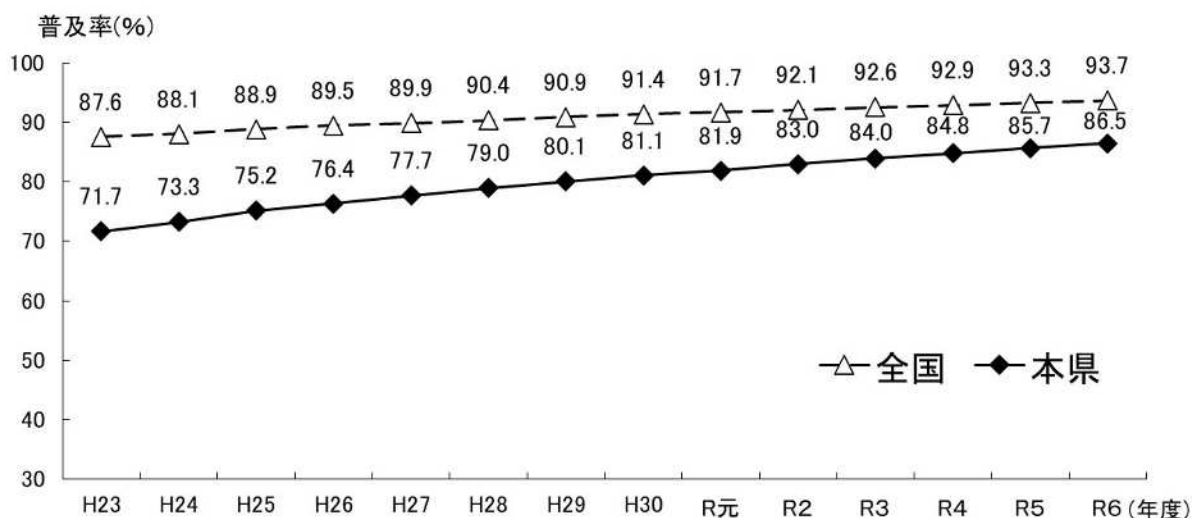
本県の県民1人1日当たりのごみの排出量は、令和5年度は877gであり、全国の851gよりも26g多い。



資料：環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」

(2) 汚水処理人口普及率の推移

本県の汚水処理人口普及率は、令和6年度末で86.5%まで向上しているが、全国との差が7.2ポイントある。



資料：農林水産省、環境省、国土交通省「汚水処理人口普及率調査」

(注) 1 平成23年度調査は、岩手県と福島県を除いた都道府県の集計データ

2 平成24・25・26・27年度調査は、東日本大震災の影響により調査不能な市町村があった福島県を除いた都道府県の集計データ

3 平成28・29・30・令和元・2年度調査は、東日本大震災の影響により調査不能な福島県の一部市町村を除いた都道府県の集計データ

(3) 温室効果ガス排出量

① 本県の温室効果ガス排出量等

令和5（2023）年度の本県の温室効果ガス総排出量は、1,133万4千トンCO₂（二酸化炭素換算。以下同じ。）である。総排出量のうち、エネルギー起源二酸化炭素が77.0%と大部分を占めている。

（単位：千トンCO₂）

	2013年度 (基準年度)	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	基準年度比	前年度比
二酸化炭素 (CO ₂)	12,546	11,843	11,428	10,330	10,012	9,186	9,408	9,728	9,001	9,580	8,970	-28.5%	-6.4%
	84.7%	84.1%	83.3%	81.5%	81.2%	79.7%	80.2%	80.5%	79.4%	80.1%	79.1%		
エネルギー起源	12,315	11,606	11,190	10,094	9,778	8,947	9,140	9,489	8,755	9,330	8,729	-29.1%	-6.4%
	83.1%	82.4%	81.6%	79.6%	79.3%	77.7%	77.9%	78.5%	77.3%	78.0%	77.0%		
非エネルギー起源	231	238	238	236	235	239	268	239	247	250	241	+4.1%	-3.5%
	1.6%	1.7%	1.7%	1.9%	1.9%	2.1%	2.3%	2.0%	2.2%	2.1%	2.1%		
メタン (CH ₄)	1,038	1,007	989	996	997	999	1,006	1,020	987	1,016	1,016	-2.1%	-0.0%
	7.0%	7.1%	7.2%	7.9%	8.1%	8.7%	8.6%	8.4%	8.7%	8.5%	9.0%		
一酸化二窒素 (N ₂ O)	881	831	866	877	875	894	871	877	875	900	897	+1.7%	-0.3%
	5.9%	5.9%	6.3%	6.9%	7.1%	7.8%	7.4%	7.3%	7.7%	7.5%	7.9%		
代替フロン等4ガス	350	406	431	472	446	439	444	461	470	464	451	+29.0%	-2.6%
	2.4%	2.9%	3.1%	3.7%	3.6%	3.8%	3.8%	3.8%	4.1%	3.9%	4.0%		
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	305	338	370	392	403	417	420	430	436	429	413	+35.3%	-3.7%
	2.1%	2.4%	2.7%	3.1%	3.3%	3.6%	3.6%	3.6%	3.8%	3.6%	3.6%		
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	15	29	36	34	16	10	14	18	21	20	21	+37.1%	+3.1%
	0.1%	0.2%	0.3%	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%		
六ふっ化硫黄 (SF ₆)	29	39	24	44	26	11	9	13	13	15	18	-38.1%	+21.7%
	0.2%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%		
三ふっ化窒素 (NF ₃)	0.8	1.0	0.6	1.0	0.7	0.8	0.6	0.2	0.2	0.4	0.3	-58.6%	-13.2%
	0.006%	0.007%	0.004%	0.008%	0.006%	0.007%	0.006%	0.002%	0.002%	0.003%	0.003%		
合計	14,815	14,088	13,714	12,676	12,331	11,518	11,729	12,085	11,332	11,959	11,334	-23.5%	-5.2%
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		
森林吸収量	—	2,081	2,073	2,022	2,015	1,989	1,902	1,886	1,823	1,774	1,725	—	-2.8%
森林吸収量を含む排出量	14,815	12,007	11,641	10,654	10,316	9,529	9,827	10,199	9,509	10,185	9,609	-35.1%	-5.7%

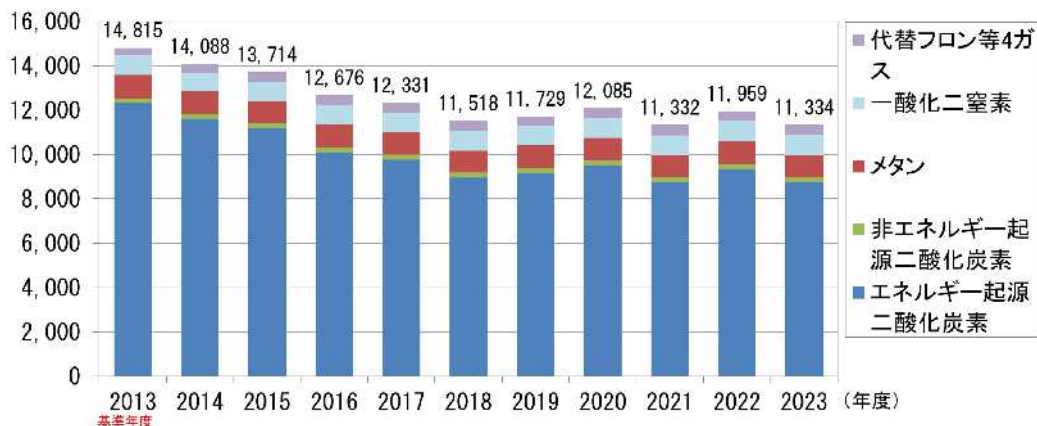
備考：四捨五入の関係上、合計等が一致しないことがある。

資料：環境林務部「2023(令和5)年度の本県の温室効果ガス排出量と森林吸収量について」

② 本県の温室効果ガス排出量の推移

令和5（2023）年度の本県の温室効果ガス総排出量は、平成25（2013）年度（基準年度）と比較して、23.5%（348万1千トンCO₂）減少している。

（千トンCO₂）



資料：環境林務部「2023(令和5)年度の本県の温室効果ガス排出量と森林吸収量について」

③ 本県のエネルギー起源二酸化炭素の排出量

令和5（2023）年度のエネルギー起源二酸化炭素の排出量は、872万9千トンCO₂であり、部門別排出割合をみると、運輸部門が39.9%と最も大きく、以下、業務その他部門が21.5%、産業部門が21.3%、家庭部門が15.1%、エネルギー転換部門が2.2%となっている。

（単位：千トンCO₂）

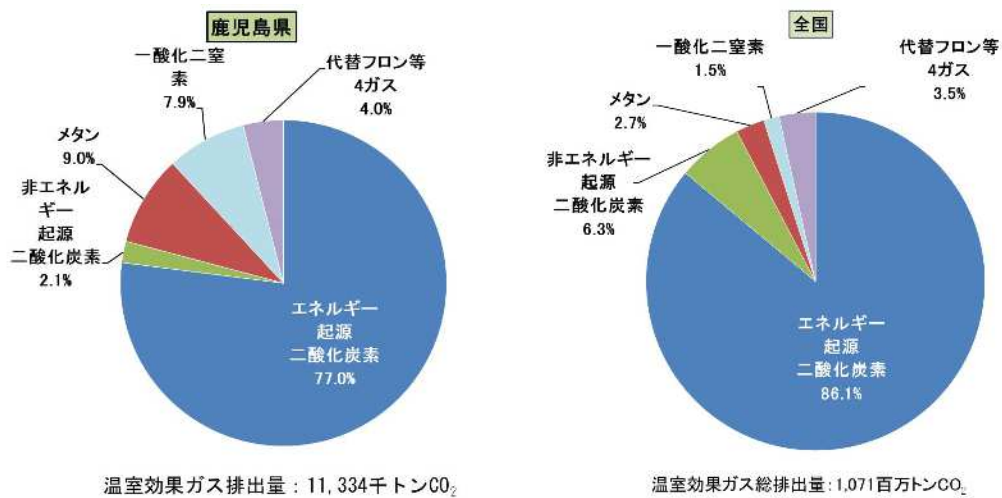
	2013年度 (基準年度)	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	排出量	基準年度比	前年度比
	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア	シェア		
産業部門 (工場・農林水産業・建設鉱業)	2,397	2,172	2,101	1,840	1,728	1,487	1,476	1,830	1,602	1,725	1,860	-22.4%	+7.8%
	19.5%	18.7%	18.8%	18.2%	17.7%	16.6%	16.1%	19.3%	18.3%	18.5%	21.3%		
業務その他部門 (商業・サービス・事務所等)	3,093	2,910	2,938	2,264	2,067	1,878	2,002	2,161	2,010	2,051	1,878	-39.3%	-8.4%
	25.1%	25.1%	26.3%	22.4%	21.1%	21.0%	21.9%	22.8%	23.0%	22.0%	21.5%		
家庭部門	1,876	1,667	1,478	1,451	1,466	1,242	1,293	1,555	1,289	1,576	1,317	-29.8%	-16.4%
	15.2%	14.4%	13.2%	14.4%	15.0%	13.9%	14.1%	16.4%	14.7%	16.9%	15.1%		
運輸部門 (自動車・鉄道・船舶等)	4,547	4,492	4,391	4,281	4,287	4,175	4,168	3,682	3,647	3,763	3,483	-23.4%	-7.4%
	36.9%	38.7%	39.2%	42.4%	43.8%	46.7%	45.6%	38.8%	41.7%	40.3%	39.9%		
エネルギー転換部門 (発電所等)	403	365	282	258	229	165	201	261	207	216	191	-52.5%	-11.3%
	3.3%	3.1%	2.5%	2.6%	2.3%	1.8%	2.2%	2.8%	2.4%	2.3%	2.2%		
合計	12,315	11,606	11,190	10,094	9,778	8,947	9,140	9,489	8,755	9,330	8,729	-29.1%	-6.4%
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		

備考：四捨五入の関係上、合計等が一致しないことがある。

資料：環境林務部「2023(令和5)年度の本県の温室効果ガス排出量と森林吸収量について」

④ 温室効果ガス排出割合

令和5（2023）年度の本県の温室効果ガス排出割合を全国と比較すると、メタン及び一酸化二窒素の占める割合が大きい。メタンが家畜の消化管内発酵や排せつ物管理、水田など、一酸化二窒素が家畜の排せつ物管理や農用地の土壌などからの発生に起因していることから、農業県としての特徴を示しているものと考えられる。



資料：環境林務部「2023(令和5)年度の本県の温室効果ガス排出量と森林吸収量について」
 全国 環境省「日本国温室効果ガスインベントリ報告書2025年」